

製品安全データシート

製造者情報

会社名 株式会社ミスミ
 所在地 東京都文京区後楽 2-5-1
 飯田橋ファーストビル
 部署 ファクトリーサプライ事業部
 電話番号 0120-343-256
 F A X 番号 03-3647-7123
 緊急連絡先 所在地と同じ
 作成日 2013/01/21

整理番号 AD0109010GHS※※

製品名 AMPC840 ミスミ・パーツクリーナー

危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

火薬類
 可燃性／引火性ガス
 可燃性、引火性エアゾール
 支燃性／酸化性ガス
 引火性液体
 自己反応性化学品
 自然発火性液体
 自己発熱性化学品
 水反応可燃性化学品
 酸化性液体
 有機過酸化物
 金属腐食性物質

分類対象外
 分類対象外
 区分 1
 分類対象外
 区分 2
 分類対象外
 分類対象外
 分類対象外
 分類対象外
 分類対象外
 分類対象外
 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）
 急性毒性（経皮）
 急性毒性（吸入：気体）
 急性毒性（吸入：蒸気）
 急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）
 皮膚腐食性、刺激性
 眼に対する重篤な損傷、刺激
 呼吸器感作性
 皮膚感作性
 生殖細胞変異原性
 発がん性
 生殖毒性
 特定標的臓器、全身毒性（単回暴露）
 特定標的臓器、全身毒性（反復暴露）

区分 5
 区分 5
 区分外
 区分外
 区分外
 区分 2
 区分 2A
 分類できない
 区分外
 区分外
 区分外
 区分 1A
 区分 3（麻酔作用、気道刺激性）
 区分 1（中枢神経系、末梢神経系、肝臓）
 区分 2（神経）
 区分外
 区分 2

吸引性呼吸器有害性

水生環境有害性（急性）

GHS ラベル要素



注意喚起語 危険

危険有害性情報

可燃性、引火性の高いエアゾール
 引火性の高い液体および蒸気
 皮膚刺激
 眼を強く刺激する
 生殖能または胎児への悪影響の恐れあり
 授乳中の子に害を及ぼす恐れ
 遺伝性疾患の恐れ
 呼吸器系への刺激の恐れ
 眠気又はめまいの恐れ
 長期又は反復ばく露による中枢神経系、末梢神経系、肝臓の障害
 吸引により眠気またはめまいの恐れあり
 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険の恐れ
 水生生物に毒性

使用上の注意

缶の記載事項をよく読む。
 炎、火花または高温体との接触を避ける。
 常温で取り扱い、その際、蒸気の吸入、原液の接触に注意する。
 屋外か屋内であれば通気性の良い場所で使用する。
 長時間の連続使用しない。
 必要に応じて保護具を着用する。
 使用後は手洗い、うがいを十分する。

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 医師の手当を受ける。
 飲み込んだ場合 : 水で口をよくすすぐこと。無理に吐かせないこと。医師の手当を受ける。
 眼に入った場合 : 水でよく洗うこと。コンタクトレンズを装着してる場合、固着してなければ
 外すこと。十分、洗浄後、医師の手当を受ける。
 皮膚にかかった場合 : 水と石けんでよく洗うこと。衣類が濡れた場合、直ちに着替える。
 腫れが生じたり皮膚への刺激が強い場合、医師の手当を受ける。
 屋内の直射日光が当たらない涼しい場所で保管すること。
 内容物、容器は規則に従って廃棄すること。

組成、成分情報	成分及び含有量 化学式または構造式 CAS No. 官報公示整理番号 国連番号 国連分類 消防法 労働安全衛生法 PRTR法	石油系溶剤、エタノール(20%未満)、噴射剤 企業秘密のため非公表 企業秘密のため非公表 企業秘密のため非公表 1950 クラス 2.1 第4類第1石油類 危険等級II 通知対象物：エタノール、ブタン(噴射剤) 非該当
---------	--	---

応急措置	吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。必要なら医師の手当を受ける。
	飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。医師の手当を受ける。
	眼に入った場合	: 水でよく洗うこと。コンタクトレンズを装着している場合固着してなければ外すこと。十分、洗浄した後、医師の手当を受ける。
	皮膚にかかった場合	: 水と石けんで十分、洗うこと。衣類が濡れた場合、直ちに着替えること。濡れた衣類を再着用する場合は洗濯すること。腫れや痛みが生じる場合、医師の手当を受ける。

火災時の措置	消火方法	: 速やかに容器を安全な場所に移す。 保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用する。風上から消火する。
	消火剤	: 霧状の強化剤、泡粉末または炭酸ガス消火器。 棒状の水を使用しない。

漏出時の措置	保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用する。 風上から作業する。 砂、おがくず、ウエス、新聞紙等に吸い込ませて、回収する。 土壌、河川、湖沼、海域、下水道等に流入しないように注意する。
--------	--

取扱いおよび 保管上の注意	関係法令の定めるところによるほか、以下の点に注意する。			
	<table border="0"> <tr> <td>取り扱い</td> <td>炎、火花または高温体との接触を避ける。 常温で取り扱い、その際、蒸気の吸入、原液の接触に注意する。 屋外か屋内であれば通気性の良い場所で使用する。 長時間の連続使用しない。 必要に応じて保護具を着用する。 使用後は手洗い、うがいを十分する。</td> </tr> <tr> <td>保管</td> <td>屋内の直射日光が当たらない涼しい場所で保管する。 ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。</td> </tr> </table>	取り扱い	炎、火花または高温体との接触を避ける。 常温で取り扱い、その際、蒸気の吸入、原液の接触に注意する。 屋外か屋内であれば通気性の良い場所で使用する。 長時間の連続使用しない。 必要に応じて保護具を着用する。 使用後は手洗い、うがいを十分する。	保管
取り扱い	炎、火花または高温体との接触を避ける。 常温で取り扱い、その際、蒸気の吸入、原液の接触に注意する。 屋外か屋内であれば通気性の良い場所で使用する。 長時間の連続使用しない。 必要に応じて保護具を着用する。 使用後は手洗い、うがいを十分する。			
保管	屋内の直射日光が当たらない涼しい場所で保管する。 ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。			

暴露防止措置		管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH(TLV-TWA)
	石油系溶剤	設定されていない	設定されていない	500ppm
	エタノール	設定されていない	設定されていない	1000ppm

設備対策	排気装置を設けるか通気性を良くする。
呼吸用保護具	必要であれば防毒マスクを着用する。
保護眼鏡	必要であれば着用する。
保護手袋	長時間、または繰り返し接触する場合、耐油性のものを着用する。
保護衣	長時間にわたって取り扱う場合、または濡れる場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。

物理/化学的性質	石油系溶剤	エタノール	ブタン
外観等	無色透明液体	無色透明液体	無色透明液体
臭気	微石油臭	芳香臭	微臭
沸点	61~63℃	78.3	-0.5℃
蒸気圧	0.44kpa 以下 (25.0℃)	5.73kPa(20℃)	0.12MPaG(20℃)
揮発性	大きい	大きい	大きい
凝固点	データなし	-114.5℃	—
比重	0.66g/cm ³ (15℃)	0.78g/cm ³	(液) 0.578 g/cm ³ (20℃)
初留点	61℃	—	—
溶解度	水に不溶	水に可溶	水に不溶
蒸気密度 (空気=1)	2.99	1.59	—

危険性情報	石油系溶剤	エタノール	ブタン
引火点	-30℃以下	13℃	-72℃
発火点	280℃	439℃	441℃
爆発限界	1.2~7.7%	3.3~19.0%	1.8 ~8.4%
可燃性	あり	あり	あり
酸化性	なし	なし	なし
自己反応性	なし	なし	なし
安定性	安定	安定	安定
反応性	不活性	酸と反応する	不活性

その他：強酸化剤との配合を避ける。

有害性情報	石油系溶剤	エタノール
刺激性	石油系溶剤、アルコールともに眼、鼻、喉、呼吸器官、粘膜皮膚等に対して刺激性がある。繰り返しの接触により脱脂症状炎症、痛み等が生じる恐れがある。	
急性毒性	石油系溶剤：有用なデータなし 類似溶剤はラット 経口 LD ₅₀ 28700mg/kg 以上	エタノール：ラット 経口 LD ₅₀ 5000mg/kg 以上
慢性毒性	石油系溶剤：有用なデータなし	エタノール：有用なデータなし
発がん性	石油系溶剤：有用なデータなし	エタノール：IARCの見解ではアルコール性飲料としてヒトに発がん性があると してグループ1に分類している。 ACGIHの見解では主として作業環境での有害性因子としてヒト発がん性に分類できない物質ということでA4に分類している。
感作性	石油系溶剤：有用なデータなし	エタノール：有用なデータなし
変異原性	石油系溶剤：有用なデータなし	エタノール：遺伝性疾患の恐れ
催奇形性	石油系溶剤：有用なデータなし	エタノール：有用なデータなし
生殖毒性	石油系溶剤：有用なデータなし	エタノール：習慣的な大量摂取により生殖能又は胎児への悪影響の恐れ

環境影響情報	<p>動植物、鳥類、昆虫、水棲生物、微生物等に悪影響を与える可能性がある。 自然環境にとって有害であり悪影響を及ぼす可能性がある。 よって自然環境中(土壌、河川、湖沼、海等)に排出しない。 水生環境急性有害性 石油系溶剤：類似溶剤は区分2とされている。 エタノール：区分外とされている。</p> <p>水性環境慢性有害性 石油系溶剤：分類できないとされている。 エタノール：区分外とされている。</p>
廃棄上の注意	<p>廃棄物処理法に従って自ら処理するか、産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合、そこに委託して処理する。</p>
輸送上の注意	<p>輸送時には「取扱いおよび保管上の注意」の項に記載した内容に留意するほか容器に漏洩、破損のないことを確かめ、荷崩れを起こさないよう確実に積み込む。さらに関連法令に従った措置も講じる(品名、数量、火気厳禁の表示、消火装置の設置、積み重ねの高さは3m以下にする等。)。 第1類及び第6類の危険物及び高压ガスとの混載しない。</p>
適用法令	<p>消防法・・・・・・・・・・・・・・・・・・第4類第1石油類 危険等級Ⅱ 水質汚濁防止法・・・・・・・・・・油分排出規制 (ノルマルヘキサン抽出分として) 海洋汚染防止法・・・・・・・・・・油分排出規制 (原則禁止) 廃棄物の処理および清掃に関する法律・・・・産業廃棄物規制 (拡散、流出の禁止) 高压ガス保安法・・・・・・・・・・適用除外 労働安全衛生法・・・・・・・・・・通知対象物：エタノール、ブタン</p>
参考文献	<ol style="list-style-type: none"> 1. ITRC MONOGRAPHS ON THE EVALUATION OF THE CARCINOGENIC RISK OF CHEMICALS TO HUMANS VOLUME 33 2. 許容濃度の勧告 (1992) 日本産業衛生学会 産業医学 35 巻 p. 323-367 3. 製品安全データシートの作成指針 (日本化学工業協会) 4. GHS 対応による混合物 (化学物質) の作成手法の研修テキスト (改訂版) (中央労働災害防止協会) 5. 各原料の MSDS
注意事項	<p>この製品安全データシート(MSDS)は通常の手続きを想定して作成したものです。MSDS は安全の保証を約束するものではありません。 取扱者は状況に応じて使用してください。 MSDS の内容は新たな知見により予告なく変更することがあります。</p>